

参考資料5

| No | 機能区分 | | ロール | | | | 必須要件 | 非必須要件 |
|----|------|-----------------|-----|-----|-----|------------|---|--|
| | 大分類 | 中分類 | 著者 | 査読者 | 編集者 | システム管理者(※) | | |
| 2 | 共通 | ユーザ登録 | ○ | | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・ユーザの詳細情報を登録できること。 ・登録が完了すると、ログイン画面よりシステムへログインが可能となること。 ・必須入力項目を設けること。(JSTと協議し決定する) ・以下2パターンでユーザ登録が可能なこと。 <ul style="list-style-type: none"> ①会員に限定せずに投稿できるジャーナルの場合は、新規投稿者がアカウント申請し、即利用可能となる。 ②会員限定のジャーナルの場合は、編集事務局のみがユーザ登録する(登録が完了すると、IDとパスワードを記載したメールを送信すること。機械が設定したパスワードをユーザに通知し、初回ログイン時にパスワード変更してから利用開始とすること)。(詳細は設計時に決定する) | |
| 3 | | ログイン | ○ | ○ | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・ログインする画面を用意すること。(ジャーナル毎にログイン画面が異なる想定) ・ユーザに割り当てられたロールにより、それぞれのメインメニュー画面を表示すること。 | |
| 4 | | ログアウト | ○ | ○ | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・システムからログアウトするボタンを用意すること。 ・任意の画面でログアウトできること。 | |
| 5 | | パスワード通知 | ○ | ○ | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・パスワードを忘れた場合、メールアドレス、姓、名を入力して、メールアドレスに有効期限付きのURL(パスワードリセット画面への遷移)付きのメールを送付し、そのURLからパスワードをリセットすること。(詳細は設計時に決定する) | |
| 6 | | 登録情報変更 | ○ | ○ | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・登録されたユーザ情報を変更できること。 | |
| 7 | | 原稿及び原稿一覧の閲覧可能範囲 | ○ | ○ | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・投稿原稿を一覧表示できること。 ・一覧表示する範囲は以下とする。 著者：自身が投稿した原稿のみ閲覧可能 査読者：ログインしたジャーナルについて、査読を担当した原稿のみ閲覧可能 編集者：自身の所属するジャーナルの原稿が閲覧可能 | |
| 8 | | メール送信(フロー外) | ○ | ○ | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・各工程の任意のタイミングでメールを送信できること。 | |
| 9 | 投稿 | 著者メインメニュー | ○ | | | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・著者ユーザとしてログインした際に著者ユーザ用のメニュー画面が表示されること。 | |
| 10 | | 初回投稿 | ○ | | | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・新規で原稿を投稿できること。 ・編集者へのコメントを付記できること。 ・投稿中の内容は画面遷移ごとに自動保存すること。 ・一時保存状態の記事を削除できること。 ・アップロードしたwordファイルを元に自動でPDFを作成すること。 ・必須入力項目を設けること。(JSTと協議し決定する) ・全ジャーナル共通で添付ファイルサイズの上限を設定できること。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ジャーナル毎に添付ファイルサイズの上限を設定できることが望ましい。 |

| No | 機能区分 | | ロール | | | | 必須要件 | 非必須要件 |
|----|------|------------|-----|-----|-----|------------|--|------------------------------------|
| | 大分類 | 中分類 | 著者 | 査読者 | 編集者 | 者(※)システム管理 | | |
| 11 | | 初回再投稿 | ○ | | | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・編集者から差し戻された原稿を投稿者が再提出できること。 ・編集者へのコメントを付記できること。 ・投稿中の内容は画面遷移ごとに自動保存すること。 ・一時保存状態の記事を削除できること。 ・アップロードしたwordファイルを元に自動でPDFを作成すること。 ・必須入力項目を設けること。(JSTと協議し決定する) ・全ジャーナル共通で添付ファイルサイズの上限を設定できること。 | ・ジャーナル毎に添付ファイルサイズの上限を設定できることが望ましい。 |
| 12 | | 投稿情報表示 | ○ | | | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・投稿時に入力した情報、アップロードファイル、自動作成したPDF、投稿のステータスなどの詳細情報を表示できること。 | |
| 13 | | 審査原稿一覧 | ○ | | | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・審査中の投稿を一覧表示できること。 ・審査がすべて終了した投稿を一覧表示できること。 | |
| 14 | 査読 | 査読者メインメニュー | | ○ | | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・査読者ユーザとしてログインした際に査読者ユーザ用のメニュー画面が表示されること。 | |
| 15 | | 査読打診回答 | | ○ | | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・査読打診に対して受諾か辞退の回答できること(システムにログインして回答する)。 ・辞退時には、辞退理由を入力できること。 | |
| 16 | | 査読報告 | | ○ | | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・編集者に原稿の査読結果(アクセプト、リジェクト、リバイス)を報告できること。 ・査読時に査読添付ファイルをアップロードすることが可能なこと。 ・アップロードした査読添付wordファイルのプロパティ情報を自動で削除すること。 | |
| 17 | | 全原稿一覧 | | ○ | | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・査読依頼中、および査読が完了した担当投稿の一覧を表示できること。 | |
| 18 | 審査 | 編集者メインメニュー | | | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・編集者ユーザとしてログインした際に編集者ユーザ用のメニュー画面が表示されること。 | |
| 19 | | 初回投稿受付 | | | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・投稿の受付処理ができること。 ・投稿内容に不備がある場合に、コメントを付記して投稿を著者に返送できること。 | |
| 20 | | 修正原稿受付 | | | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・修正投稿を受付処理できること。 ・投稿内容に不備がある場合に、コメントを付記して投稿を著者に返送できること。 | |
| 21 | | 原稿取下げ | | | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・原稿を取り下げ/削除処理できること。 | |
| 22 | | 管理番号付与 | | | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・投稿原稿に管理番号を付与すること。 | |
| 23 | | 編集者担当打診・依頼 | | | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・投稿原稿を選択し、複数の編集者を追加/削除できること。 | |
| 24 | | 査読打診・依頼 | | | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・投稿原稿を選択し、査読者を検索して打診/依頼できること。 ・査読打診/依頼を繰り返し行えること。 | ・一度に複数の査読者に打診できることが望ましい。 |
| 25 | | 査読打診・依頼取消し | | | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・投稿原稿を選択し、査読者への打診、依頼を取り消すことができること。 | |
| 26 | | 新規査読者代理登録 | | | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・既存ユーザ内に該当の査読者がいない場合、査読者ユーザを新規登録できること。 | |
| 27 | | 査読結果編集 | | | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・査読者の報告内容を変更できること。 | |
| 28 | | 査読結果の差し戻し | | | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・査読者の報告内容を再度やり直せる状態にできること。 | |
| 29 | | 審査・採否決定 | | | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・原稿の審査/採否結果を登録できること。 | |
| 30 | | 早期審査報告 | | | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・原稿の審査/採否結果を編集者アサイン、査読者アサインをすることなく登録できること。 | |

| No | 機能区分 | | ロール | | | | 必須要件 | 非必須要件 |
|----|------|------------|-----|-----|-----|------------|--|--|
| | 大分類 | 中分類 | 著者 | 査読者 | 編集者 | 者(※)システム管理 | | |
| 31 | | 採否決定通知 | | | ○ | ○ | ・著者へ採否結果を通知できること。 ・採否結果が修正であった場合は、この通知を修正投稿依頼とすること。 | |
| 32 | | 審査・採否決定取消し | | | ○ | ○ | ・採否内容を取り消して、再度やり直せる状態に戻せること。 | |
| 33 | | 審査・採否結果編集 | | | ○ | ○ | ・審査、採否結果内容を上書きで変更できること。 | |
| 34 | | 全原稿検索 | | | ○ | ○ | ・任意の条件（管理番号、投稿者、タイトル、期限超過の抽出）を入力して、原稿を検索できること。 | ・任意の条件を入力して、検索条件を保存できることが望ましい。 |
| 35 | | 担当原稿検索 | | | ○ | ○ | ・担当している原稿情報のみを検索できること。 | |
| 36 | | 追加原稿情報 | | | ○ | ○ | | ・著者が登録する投稿情報とは別に、事務局や編集者側で管理用に追加情報を登録できることが望ましい。 |
| 37 | | 進捗確認 | | | ○ | ○ | ・投稿原稿の進捗状況を表示できること。 ・進捗状況ごとに投稿情報を振り分けて表示すること。 ・進捗状況のリンクをクリックすると、各条件に当てはまる投稿の一覧を表示する。 | |
| 38 | | 履歴確認 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・原稿の査読結果、コメントを共有できること 著者：アクセス権限がある原稿のコメントを閲覧可能 査読者：アクセス権限がある原稿の査読結果を閲覧可能 編集者：所属ジャーナルの全原稿の査読結果、コメントを閲覧可能 | ・投稿原稿のステータス履歴、連絡履歴を表示できることが望ましい（過去に送付した全メールの内容を表示する）。 |
| 39 | | 投稿原稿編集 | | | ○ | ○ | | ・投稿原稿内容を編集者側で編集できることが望ましい。 |
| 40 | | 討論 | | ○ | ○ | ○ | | ・討論できることが望ましい（討論は原稿単位に行い、原稿へのアクセス権限があれば入力・参照可能とする）。 |
| 41 | 管理 | 全ユーザ検索 | | | ○ | ○ | ・システムに登録された全ユーザ（自身の所属するジャーナルのユーザ）を検索できること。 | ・任意の条件を入力して、検索条件を保存できることが望ましい。 |
| 42 | | ユーザ管理 | | | ○ | ○ | ・ユーザ情報を管理できること。 ・重複ユーザのマージ、ユーザの削除、ユーザ情報の更新、新規ユーザの登録が可能なこと。 | |
| 43 | | ユーザ詳細確認 | | | ○ | ○ | ・ユーザ情報の詳細を確認できること。 | |
| 44 | | 査読者督促 | | | ○ | ○ | ・査読者に対して期限を超過している案件の督促処理が可能なこと。 | ・あらかじめ条件を設定し、自動的に督促送信が可能なのが望ましい。 |
| 45 | | 編集者督促 | | | ○ | ○ | ・編集者に対して督促処理が可能なこと。 | |
| 46 | | 著者督促 | | | ○ | ○ | ・著者に対して督促処理が可能なこと。 | |
| 47 | | レポート作成 | | | ○ | ○ | | 投稿原稿、編集者、査読者、著者、所要時間などの実績や、統計に関するレポートを作成できることが望ましい。 |
| 48 | | 一括メール送信 | | | ○ | ○ | ・一括でメール送信できること。 | ・一括メール送信時に、送信日時をあらかじめ設定可能なのが望ましい。 |
| 49 | | メール管理 | | | ○ | ○ | ・デフォルトのメールテンプレートを作成できること。 ・メール内ではあらかじめ決められたマージフィールド（各投稿情報やユーザ情報を表示するための変数）を使用することが可能で、HTMLメールの作成も可能なこと。 | |
| 50 | | ログイン画面管理 | | | ○ | ○ | ・ログイン画面上にジャーナル名が表示されること。 | ・ジャーナル毎にログイン画面の説明文、サムネイル画像、背景、リンク等を設定でき、随時修正可能なのが望ましい。 |

| No | 機能区分 | | ロール | | | | 必須要件 | 非必須要件 |
|----|------|------------|-----|-----|-----|------------|------|--|
| | 大分類 | 中分類 | 著者 | 査読者 | 編集者 | 者(※)システム管理 | | |
| 51 | | ユーザ登録画面管理 | | | ○ | ○ | | ・ユーザ登録画面の説明文と、ユーザ登録項目を設定できることが望ましい。 |
| 52 | | 論文番号管理 | | | ○ | ○ | | ・論文番号の付与方法を設定できることが望ましい。 ・番号のみを自動付与方法、投稿ごとに手動付与方法から選択できることが望ましい。 |
| 53 | | 分野管理 | | | ○ | ○ | | ・投稿分野(領域、キーワード)を設定できることが望ましい。 ・分野(領域、キーワード)は任意数定義できることが望ましい。 |
| 54 | | 論文種別管理 | | | ○ | ○ | | ・論文種別を設定できること。 |
| 55 | | ブラインド管理 | | | ○ | ○ | | ・ブラインド無し/シングルブラインド/ダブルブラインドを査読者毎に設定可能なこと(投稿者・査読者の個人を特定する情報をシステムで自動非表示にする)。 |
| 56 | | データエクスポート | | | ○ | ○ | | ・システム内のユーザデータをエクスポートできること。 ・システム内のマスタデータ、投稿データをエクスポートできることが望ましい。 |
| 57 | | ユーザデータ一括投入 | | | ○ | ○ | | ・指定のフォーマットで書かれたユーザデータ(アカウント情報)を一括で登録できること。 |
| 58 | | 分野マスター一括投入 | | | ○ | ○ | | ・指定のフォーマットで書かれた分野(領域、キーワード)マスタを一括で登録できることが望ましい。 |
| 59 | | ホーム画面設定 | | | ○ | ○ | | ・ジャーナル毎のトップページを設定できること。 ・トップページはHTML形式で作成するため、学会ごとにデザインが可能で、自由に作成できること。 ・トップページにアナウンス情報を掲載できること。 ・ボールド、イタリック、下付き、上付き、リンクの書式設定可能なことが望ましい。 |
| 60 | | セキュリティ設定 | ○ | ○ | ○ | ○ | | ・パスワードの文字数は13桁以上であり、以下の文字条件を満たすこと。 (1) ①英大文字、②英小文字、③数字、④記号の文字種において①②を含み、かつ③④のいずれかを含んでいる (2) 繰り返し("aaaa"等)またはシーケンシャル("abcd"等)な文字列ではない (3) 過去に設定したものと同一ものではない |
| 61 | | 原稿管理 | ○ | ○ | ○ | ○ | | ・投稿原稿のバージョン管理ができること。 |
| 62 | その他 | 日本語/英語 | ○ | ○ | ○ | ○ | | ・日本語/英語の画面表示を切替可能なこと(併記可)。 |
| 63 | | ロール設定 | | | | | | ・ユーザアカウント毎に、著者、査読者、編集者、システム管理者権限のロールを設定可能なこと。 ・著者、査読者、編集者、システム管理者の他、既存の権限を付与できる別のロールを追加できることが望ましい。また、ロールを削除できることが望ましい。 ・サブロールを設定できることが望ましい。 |
| 64 | | システム管理者(※) | | | | ○ | | ・著者、査読者、編集者、システム管理者権限のユーザアカウントを登録可能なこと。 ・システム管理者はジャーナルを設定できること。 ・1システム(1つのデータベース)に複数ジャーナルを設定できること。 |
| 65 | | アクセス権限 | | | | | | ・アクセス権限によりユーザの所属するジャーナルの情報のみ表示されること(他のジャーナルの情報は参照不可)。 |
| 66 | | エラーチェック | | | | | | ・必須入力項目やメールアドレス入力値(全角の有無等)についてエラーチェックを行うこと。 |

(※) システム管理者：JST情報基盤事業部研究成果情報グループが利用する想定